

◎令和6年7月17日（金）～19日（土）産業福祉常任委員会視察

■令和6年7月17日（水）15:30～ みのる産業㈱

対応者 副社長 國定登志、
営業本部部長 岡武康之、
工場本部取締役本部長 藤森陰男

- ・創業79年
- ・かつては北海道で1400台販売していたが、今は200台を切っている。
- ・従業員は900名ほど。この工場付近で400名くらいが働いている。

■令和6年7月18日（木）9:33～11:17 吉備中央町役場

対応者 副議長 西山宗弘、
副町長 岡田 清、農林課長 三高昌之、農林課長補佐 西崎 肇、
農林課主事 竹中優太郎
公益財団法人吉備中央農業公社 常務理事 石坂博司

- ・なぜ吉備中央町が選ばれるのか？
→農業公社の受け入れが良いと思う。
- ・農業公社の研修は1週間のうち3日間が研修で残りは自主研修としている。日報を提出してもらっている。
- ・研修に入る前に資金などのシュミレーションをしている。
- ・公社の社員は17名。前はJAからの出向者がいたが、今はいない。
- ・新規就農者は、専業のブドウが多い。
- ・米だけでふるさと納税が10億円達成している。

■令和6年7月18日（木）14:05～ 香川県就労センター協議会

対応者 事務局長 野保昌弘、JA香川県 横田博昭（現場のみ）

最初はJAの作業場でお話を伺い、14:45 からJA会議室でお話を伺った。

- ・県からは2000万円ほどの補助金を受けている。
- ・適性をみて仕事を振り分けている。
- ・家族の反応を聞く機会は少ない。

■令和6年7月19日（金）10:00～ 北淡路農泊連携協議会

対応者 代表（淡路島ぐるめ屋㈱代表取締役）三谷久美子
淡路カントリーガーデン 店長 沖 薫

最初は淡路カントリーガーデンの食堂で話を伺い、その後農泊施設を見学

- ・農政の補助金を500万円、人材分で250万円受けた。その補助金で祭りに三宮からバスを運行させた。アルバイトも雇用した。ホームページも作った。
- ・イチゴ狩に2000名／年くらい来場し、4トンくらい収穫。その他に直売を行い、600kgくらいを冷凍保存している。
- ・北淡路だけで20店舗ほどのハンバーガーショップがある。当店では玄米バンズを大坂のパン屋から仕入れている。
- ・宿泊は3000名／年くらいで週末や長期休みに多い。
- ・平日はイチゴ栽培が忙しい。
- ・現在社員5名、バイト10名。
- ・社員は専門学校とのコネクションで採用している。
- ・グーグルマップ、グーグルビジネスを活用して集客している。
- ・売り上げは7000万円くらい。
- ・6次化商品、イベントだとかに出店して展開している。